



第二十一回

語り部養成講座

開講!

六月五日(土)、夕鶴の里語り部養成講座を開講いたしました。

昨年、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となったこともあり、二年ぶりの養成講座を心待ちにしていた受講生もいらつしやるようでした。

本講座には、子ども部二名、大人の部五名、計七名の申込みがあり、開講式には大人三名の受講生が出席しました。開講式が終了すると、全員で発音練習を行い、その後各部屋でテキストを使用した練習となりました。

夕鶴の里資料館報
令和3年6月10日
第 126号
発行 夕鶴の里
TEL 47-5800



感染症防止対策としてアクリル板を設置し練習しています。

語り部養成講座は六月三日の土曜日(午後一時三十分～午後三時)、全四回行われます。
また、七月十七日(土)の閉講式には夕鶴の里の舞台上で講義の発表があります。
関心のある方はぜひお越し下さい。

企画展

手織りのぬくもり
青芋の魅力展

五月十一日(火)より、資料館三階で「手織りのぬくもり青芋の魅力展」を開催しております。

青芋は、江戸時代、直江兼続が記した『四季農戒書』には正月に「女房は糸を取、芋をひねり男子共の着類をかせぐべし」と記載があり、自給自足の衣服の原料でした。

また、米沢藩の専売仕法に基づいて買い上げられ「米沢芋」の名前で市場に流通し、越後上布や小千谷縮の原料となりました。そのため、庶民生活においてはなかなか手の届かない貴重なものでした。

展示では青芋が原料から製品になるまでの様子も写真パネルで紹介しております。展示は八月一日(日)までです。是非、ご覧ください。



修学旅行の皆さんが

夕鶴の里にやってきました

六月四日(金)、河北町立谷地西部小学校の五、六年生が修学旅行で来館されました。民話の語りでは、紅花の産地からお越しいただいたので最初に「紅花の羽衣」をお聞きいただきました。その後、菖蒲とヨモギが出てくる「食わず女房」、そして最後に伝説民話の「鶴の恩返し」をお聞きいただきました。資料館では映像や、昔の様子をご覧いただきました。夕鶴の里からは、折り紙で折った「妹背鶴」をプレゼントしました。河北町立谷地西部小学校様からは、紅花の種をいただきました。雨が模様でしたが、皆さん楽しんで帰られました。来年も是非来て下さいね！



花いっぱい運動

今年も花いっぱい運動が始まり、職員でプランターに花植えを行いました。色とりどりの花で、皆様をお迎えしています。



おきたま語り部の会
交流会について

☆会員のみで開催

六月二十日(日)、『おきたま語り部の会』交流会が行われます。夕鶴の里語り部ホールで行われます。毎年行われている『おきたま語りフェスティバル』が、昨年はコロナ感染症防止の為に残念ながら中止となりました。今年も感染症防止対策を徹底しながら、規模を縮小して会員のみの交流会といたします。特別出演として、川西昔ばなしの会の小林幸子さんに、自作の紙芝居を披露いただきます。尚、当日の様子を、NCVで収録していただき、後日放映される予定です。



～昔のあそび～

押し花でコースターやしおりを作ろう

7月24日(日)午前10時～

色とりどりの押し花を使って、自分だけのオリジナルコースターやしおりを作ってみましょう！



友の会研修会お知らせ

今年の友の会研修会は、コロナ感染症防止のため、お昼までの半日コースで予定しております。建高寺、薬師寺、蛙石など、魅力ある南陽市内の名所を巡ります！

開催日…七月十日(土)

※尚、会員の方には詳細をご案内いたします。